

【 協 議 事 項 】

1 最重点施策の進捗状況について

(地域見守りネットワークの構築について)

1 最重点施策の進捗状況について（地域見守りネットワークの構築について）

いわき市あんしん見守りネットワーク活動事業について

(1) 事業目的

近年、少子高齢化の進行や高齢者のみ世帯の増加、さらに地域コミュニティ自体が希薄化している中で、世代間交流がない高齢者は地域内で孤立する傾向が強く、このことが緊急に生活支援を必要とする状態になってからの発見や、孤立死の増加など、社会的な問題となっている。

今後、地域で暮らす高齢者の自立した生活を支えていくためには、行政が提供する公的なサービスの利用はもちろんであるが、地域においても、地域の実情を理解している地域住民が主体となった見守り活動を展開することが重要となっていると考え、「あんしん見守りネットワーク活動事業」を市内各地で展開することとする。

(2) 事業概要

地域住民と保健福祉関係機関（行政、地域包括支援センター、社会福祉協議会など）の協働により、地域内に「(仮称)高齢者見守り隊」を結成し、一人暮らし高齢者等に対する声かけ活動を基本としながら、孤立感の解消やごみ出しなどの生活支援を実施する。

【事業内容】

対象者

一人暮らし高齢者、高齢者のみ世帯、その他見守りが必要な高齢者（徘徊高齢者、虐待の疑いがある高齢者など）

事業主体

地域の代表である区長、行政嘱託員、老人会代表、婦人会代表、民生委員、地区社会福祉協議会、事業に賛同し登録した近隣住民である見守り協力員、さらには、新聞や牛乳を配達する事業所などの見守り協力団体等により構成される住民主体の「(仮称)高齢者見守り隊」となる。

(平成21年度から平成23年度にかけての第5次高齢者保健福祉計画期間内は、モデル事業として実施し、地域包括支援センターが開催している「地域ケア会議」の中の任意団体として設置する。)

事業主体の構成メンバーの役割

- 自治会、老人会、婦人会、民生委員などの代表からなる「(仮称)高齢者見守り隊」の主要メンバー

見守り隊のリーダーが中心となり、活動に対する方針を決定するなど地域内での事業の合意形成を図る。また、見守り協力員として地域内での見守り活動を行う。

- 事業に賛同し登録した地域住民（見守り協力員、協力団体）

日常生活や仕事において、できる範囲であいさつや声かけなど見守り活動

をすることで高齢者の孤立化を防止する。また、何かしらの支援を要する高齢者がいた場合には、地域包括支援センターに報告する。

- ・ 地域包括支援センター

見守り協力員・協力団体から寄せられた情報に対して、助言や訪問活動を行う。また、見守り隊による会議の事務局となり、活動の側面的な支援をする。

- ・ 長寿介護課

事業の地域住民への啓発（広報誌や市のホームページへの事業掲載等）を行う。また、見守り協力員・協力団体に対して、研修会や意見交換会などを行うことで、活動に対する意識醸成を図る。

具体的な見守り活動例

- ・ 基本の活動をあいさつ・声かけとする。
- ・ 一人暮らし等で外出困難となっている高齢者のごみ出しや買物支援。
- ・ 食材を刻むなどの簡易な家事援助活動。
- ・ 電球の交換などの困りごと支援。

実施地区（活動範囲）

見守り隊の活動範囲は、地域の実態に応じて、小学校区、行政区或いは複数の行政区といった地域の範囲から柔軟に設定できる。

(4) 事業展開

平成 21 年度から平成 23 年度までの第 5 次高齢者保健福祉計画期間内はモデル事業として実施する。平成 21 年度は市内 2 ヶ所程度で事業を開始し、平成 23 年度までに、市内 7 地域包括支援センターの管轄で 1 ヶ所程度の合計 7 ヶ所程度の地区で開始できるようにする。

モデル地区（下平窪地区、内郷宮町地区）の概要について

1 平下平窪地区の高齢者の状況

(1) 高齢化の状況（平成 21 年 6 月 1 日現在）

平下平窪地区の総人口 5,019 人、65 歳以上人口が 1,000 人で、高齢化率が約 20%、いわき市全体の総人口が 351,414 人、65 歳以上人口が 84,585 人で、高齢化率が約 24%となっている。

いわき市全体と比べると高齢化率は低くなっているが、同じ下平窪地区でも、国道を挟み、若い世代が多い新興住宅地と古くからの住宅地に分かれており、古くからの住宅地においては、高齢者が住む世帯が多い傾向となっている。

区 分	いわき市全体	平下平窪地区
総人口	351,414人	5,019人
高齢者人口(65歳以上)	84,585人	1,000人
高齢化率	24.07%	19.92%

(2) 世帯状況（平成 21 年 6 月 1 日現在）

平下平窪地区の世帯数に対する一人暮らし高齢者世帯の割合は、17.5%となっており、いわき市全体の割合 12.8%と比較すると、一人暮らし高齢者世帯が多くなっている。

また、一人暮らし高齢者世帯に高齢者のみ世帯を加えた割合では、平下平窪地区が 26.1%、いわき市全体の割合 22.6%と比較すると、高齢者世帯は多くなっている。

区 分	いわき市全体	平下平窪地区
世帯数	139,909	2,136
一人暮らし高齢者世帯	17,917	373
高齢者のみ世帯	13,661	184
一人暮らし高齢者世帯の割合	12.8%	17.5%
一人暮らし及び高齢者のみ世帯の割合	22.6%	26.1%

(3) 要介護認定者数（平成 21 年 4 月末日現在）

区 分	いわき市全体(構成比)	平下平窪地区(構成比)
要支援 1	1,123人(7.8%)	10人(6.2%)
要支援 2	2,109人(14.7%)	21人(13.0%)
要介護 1	1,962人(13.6%)	17人(10.6%)
要介護 2	2,466人(17.1%)	27人(16.8%)
要介護 3	2,619人(18.2%)	35人(21.7%)
要介護 4	2,227人(15.5%)	20人(12.4%)
要介護 5	1,874人(13.0%)	31人(19.3%)
計	14,380人(100%)	161人(100%)

要介護 3 以上の重度認定者の割合は、いわき市全体で 46.7%、平下平窪地区で 53.4%となっており、下平窪地区において 7 ポイントほど高く、重度での認定者が多くなっている。

2 内郷宮町地区の高齢者の状況

(1) 高齢化の状況(平成21年6月1日現在)

内郷宮町地区の総人口4,128人、65歳以上人口が1,225人で、高齢化率が約30%、いわき市全体の総人口が351,414人、65歳以上人口が84,585人で、高齢化率が約24%となっている。いわき市全体と比べると6ポイントほど高齢化率が高い地区となっており、高齢化は進展している。

モデル地区の宮一区については、旧炭鉱地区となっており、かつては金坂銀座と呼ばれ栄えた地区であったが、閉山後は、若年層の流出もあり、高齢化が進んでいる。

区 分	いわき市全体	内郷宮町地区
総人口	351,414人	4,128人
高齢者人口(65歳以上)	84,585人	1,225人
高齢化率	24.07%	29.7%

(2) 世帯状況(平成21年6月1日現在)

内郷宮町地区の世帯数に対する一人暮らし高齢者世帯の割合は、22.8%となっており、いわき市全体の割合12.8%と比較すると、10ポイントほど一人暮らし高齢者世帯が多くなっている。

また、一人暮らし高齢者世帯に高齢者のみ世帯を加えた割合では、内郷宮町地区が34.2%、いわき市全体の割合22.6%と比較すると、高齢者世帯は多くなっている。

区 分	いわき市全体	内郷宮町地区
世帯数	139,909	1,792
一人暮らし高齢者世帯	17,917	409
高齢者のみ世帯	13,661	203
一人暮らし高齢者世帯の割合	12.8%	22.8%
一人暮らし及び高齢者のみ世帯の割合	22.6%	34.2%

(3) 要介護認定者数(平成21年4月末日現在)

区 分	いわき市全体(構成比)	内郷宮町地区(構成比)
要支援1	1,123人(7.8%)	19人(7.7%)
要支援2	2,109人(14.7%)	38人(15.5%)
要介護1	1,962人(13.6%)	27人(11.0%)
要介護2	2,466人(17.1%)	53人(21.5%)
要介護3	2,619人(18.2%)	45人(18.3%)
要介護4	2,227人(15.5%)	34人(13.8%)
要介護5	1,874人(13.0%)	30人(12.2%)
計	14,380人(100%)	246人(100%)

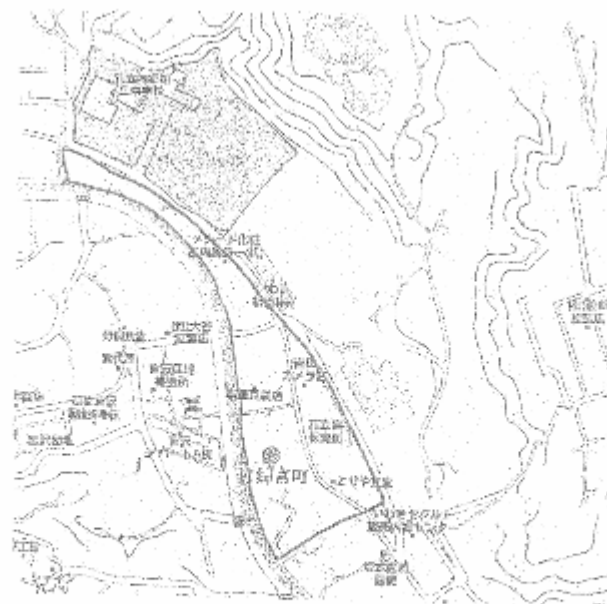
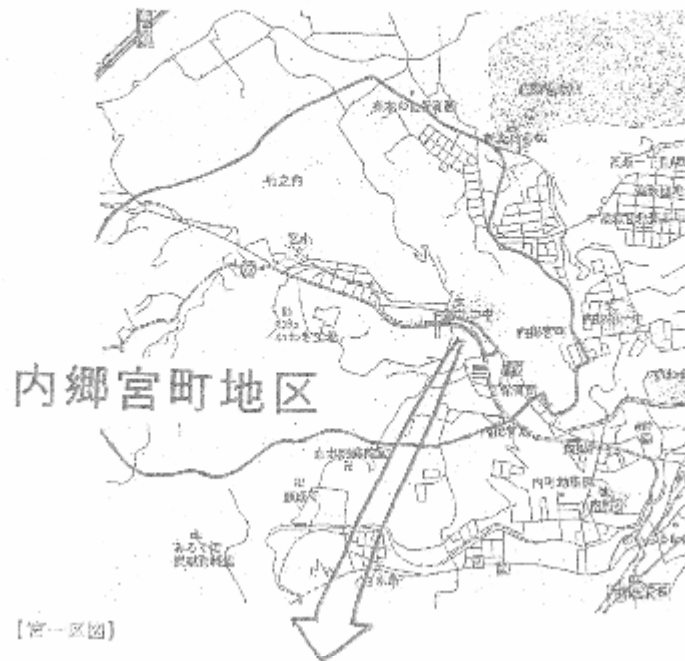
要介護3以上の重度認定者の割合は、いわき市全体で46.7%、内郷宮町地区で44.3%となっており、市全体と比較して、重度での認定者は、ほぼ同じ割合となっている。

(4) モデル地区として活動する宮一区の状況(平成21年4月1日現在)

- ・世帯数・・・98世帯
- ・人口・・・300人弱

(5) 内郷宮町地区地図(参考)

【内郷宮町全域図】



3 モデル地区における立ち上げ支援状況について

(1) 平下平窪地区

第1回高齢者見守り隊結成に向けた説明会の開催(予定)

【日時】7月9日(木)13:30から15:30

【場所】下平窪公民館

【協議内容】

- ・事業内容について説明
- ・地域内での活動について合意形成を図る
- ・リーダー、サブリーダーの選出
- ・その他

【出席者】

区長、区三役、区福祉部会、老人会青年部、老人会会長、婦人会会長、民生委員など約30名が参加予定

2回目以降の会議について

8月下旬から9月初旬には、活動が開始できるように最低2回の会議を設定する。

2回目の会議については、高齢者見守り隊規約及び活動計画書を作成してもらい、3回目を見守り隊の結団式とする。結団式では、見守り協力員バッジ及び協力員証を交付し、活動に対する意識啓発を目的に認知症サポーター講座を併せて実施したい。

(2) 内郷宮町地区

第1回高齢者見守り隊結成に向けた説明会の開催(予定)

【日時】7月6日(月)14:00から16:00

【場所】宮一区集会所

【協議内容】

- ・事業内容について説明
- ・地域内での活動について合意形成を図る
- ・リーダー、サブリーダーの選出
- ・その他

【出席者】

区長、区三役、隣組班長10名(民生委員は区長との兼務)が参加予定

2回目以降の会議について

8月下旬から9月初旬には、活動が開始できるように最低2回の会議を設定する。

2回目の会議については、高齢者見守り隊規約及び活動計画書を作成してもらい、3回目を見守り隊の結団式とする。結団式では、見守り協力員バッジ及び協力員証を交付し、活動に対する意識啓発を目的に認知症サポーター講座を併せて実施したい。